

【学校教育目標】

校訓「おのれに徹して人のために生きよう」を教育活動の指針として、生徒の

- (1) 多様性を認め自他を尊重する豊かな人間性
- (2) 主体的・対話的で深い学びを通した高い知性と教養
- (3) 課題を発見し解決に取り組み新たな価値を育む創造力を育成する。

【総合的な探究の時間の目標】

- (1) 自己の在り方生き方を考えながら、現代社会の問題を自己の問題として捉え、課題を発見し、「問い」を立て、よりよく課題を解決していくための資質・能力を育成する。
- (2) 共働的な活動を通じて、多面的な他者理解と自己の相対化を図り、「対話」の態度を養う。
- (3) 自己の思いや考えを、相手にわかりやすく発信する力を育てる。

【生徒の実態】

- ・与えられた問題に対して高い能力を発揮できる。
- ・自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、判断し行動する力が不十分。
- ・学校行事に積極的に取り組むことができる。
- ・約85%の生徒が部活動に参加している。

【学校の実態】

- ・約90%の生徒が国公立大学への進学を希望する。
- ・令和3年度の大学入試では、現役生徒60%の生徒が国公立大学に合格している。

【保護者の願い】

- ・勉強と部活動を両立させてほしい。
- ・授業の内容を充実させてほしい。
- ・清掃活動を充実させてほしい。
- ・学校行事に積極的に取り組んでほしい。

【地域の願い】

- ・国際平和文化都市の一員として世界恒久平和の実現に貢献する生徒の育成を願っている。
- ・確かな学力と責任感をもち、社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を願っている。

重点目標

- (1) 授業の質を保証し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。
- (2) 社会の中で自己を生かす高い希望を形成し、その中で学習意欲を高め、希望進路を実現する。

【学習活動】

- ① 学習課題を明確化させる。
- ② 個人レポート・小論文の作成や研究発表などを実践する。
「問い」立て→課題設定→情報収集→分析→まとめ・表現
- ③ 生徒の相互評価や自己評価を実施する。
- ④ 知識や技能の深化、総合化を図る。

【指導方法】

- ・1年次は国語科による指導で共働的な学習活動を充実させる。
- ・2年次は担当教員が年間を通して行う。
- ・3年次は英語科による指導で共働的な学習活動を充実させる。

【学習評価】

活動の実施状況の観察、ポートフォリオ、プレゼンテーション、生徒の自己評価および生徒相互の評価、授業観察などにより評価する。

【各教科・科目等との関連】

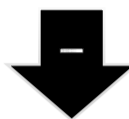
- ・情報を整理、分析、思考する活動は国語科、地歴・公民科、数学科などの教科での学習と関連がある。
- ・考えをまとめ、表現する活動は各教科・科目の学習と関連がある。
- ・社会的な現象や自然現象、異文化や言語に関心を持ち、問いを立て探究する態度は地歴・公民科、理科、英語科、国語科と関連がある。

【地域や大学等との連携】

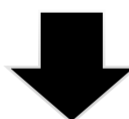
- ・大学教授および企業講師によるキャリア教育講演会の実施
- ・広島市立中央図書館との連携による「ブックトーク」の実施
- ・修学旅行先の人々との交流・広島平和記念公園ならびに広島平和記念資料館における平和学習の実施

内容（探究課題及び育成を目指す具体的な資質・能力）

該当学年	第1学年		
探究課題	課題探究のための「問う」力の育成		
目指す具体的な資質・能力	(1) 知識・技能	(2) 思考力, 判断力, 表現力等	(3) 学びに向かう力, 人間性等
	探究に必要なリテラシーや探究の意義や価値への深い理解	自分の興味関心に応じて社会諸課題について、情報収集やその整理、分析を通して、自分の結論を導く力及びそれらを日本語で表現する力	探究活動に主体的・協働的に取り組もうとする態度や、自己の相対化を図る
評価基準・評価方法	<p>(1) 探究に必要なリテラシーや探究の意義や価値の理解を身につけることができている。</p> <p>(2) 自分の興味関心に応じた社会諸課題について、情報収集やその整理、分析を通して、自分の結論を導く力及びそれらを日本語で表現する力を身につけることができている。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組む態度、自己を相対的に見る力を養うことができている。</p> <p>方法：読書体験や社会の諸問題についての原稿・レポートの作成、成果物の読み合いと評価及び分析、レポート等をもとにした発表などによって評価する。</p>		



該当学年	第2学年		
探究課題	現代社会への問題意識と「問う」力の育成		
目指す具体的な資質・能力	(1) 知識・技能	(2) 思考力, 判断力, 表現力等	(3) 学びに向かう力, 人間性等
	探究のリテラシーや意義・価値への理解を活用した探究分野に対する興味・関心・理解の伸長および深化と、「問い」を立てる技能	自分の探究する分野について、自ら「問い」を立てたうえで、情報収集やその整理、分析を通して、論理的な結論を導く力及びそれらを多様な形で表現し、相手にわかりやすく発信する力	探究活動に主体的・協働的に取り組むことを通して、自己の生き方についてよりよく考察する姿勢及び現代社会の問題を自己の視点で見出し「自分事」として捉える態度
評価基準・評価方法	<p>(1) 探究に必要なリテラシーや探究の意義・価値の理解を活用し、探究分野に対する興味・関心・理解の伸長および深化させている。また、「問い」を立てる技能を習得している。</p> <p>(2) 自分の探究する分野について、自ら「問い」を立てたうえで、情報収集やその整理、分析を通して、論理的な結論を導く力及びそれらを多様な形で表現し、相手にわかりやすく発信している。</p> <p>(3) 探究活動に主体的・協働的に取り組むことを通して、自己の生き方についてよりよく考察する姿勢及び現代社会の問題を自己の視点で見出し「自分事」として捉えようとしている。</p> <p>方法：ポートフォリオ、生徒の自己評価、授業観察、プレゼンテーションなどによって評価する。</p>		



該当学年	第3学年		
探究課題	「まとめる」力・「伝える」力の育成		
目指す具体的な資質・能力	(1) 知識・技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
	探究に必要なリテラシーや課題の発見や解決に必要な知識及び技能、探究の意義や価値の理解	自分の興味関心に応じて課題を立て、情報収集やその整理、分析を通して、自分の結論を導く力及びそれらをまとめ・表現する力	探究に主体的・協働的に取り組む態度、多面的な他者理解と自己の相対化を通じた「対話」の態度
評価基準・評価方法	<p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識および技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できる。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己とのかかわりから問いを見出し、自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。</p> <p>方法：英語論文、ループリックシート、その他ワークシート等の記述内容によって評価する。</p>		